

SA・ネット大阪ニュース 第38号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <https://sanetosaka.com/>
〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1-35 大阪市教育会館(アネックスパル法円坂)内
認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL: 06-6360-4565 FAX: 06-6360-4410

◆ ◆ 第15期通常総会開催の報告 ◆ ◆

広報部長 大川 正彦

平素は当法人の運営に格別のご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。
第15期通常総会は令和3年6月1日以下の内容にて開催させて頂きました。

本年も新型コロナウイルス感染防止のため当日はご来場をお控えいただき、議決につきまして議案書は事前に送付し議決書に承認の賛否を記入してご返事をいただきました。

第15期通常総会 期日 2021年6月1日(火) 午後1時～2時

場所 大阪府高齢者大学校 会議室

- ・ 書面審議の結果、正会員数 27 名中 18 名の承認を頂きました (9 名返信無し)。
よって 1/2 以上の賛成により議決されました。 (賛助会員 57 名)

議 案

第1号議案	第15期事業報告承認の件	承認 18	否認 0
第2号議案	第15期決算報告承認の件	承認 18	否認 0
第3号議案	役員選任の件	承認 18	否認 0
第4号議案	第16期事業計画(案)の件	承認 18	否認 0
第5号議案	第16期活動予算(案)の件	承認 18	否認 0

※ 詳細は ホームページ参照 <https://sanetosaka.com>

◆ ◆ 第15期通常総会を迎えて理事長の挨拶 ◆ ◆

理事長 村松 秀明

会員の皆様には長引くコロナ禍の状況下、如何お過ごしでしょうか。
コロナとの共生が強いられる中、当法人の今年の総会は正会員の皆様に書面決議での参加をお願いし実際の参加は最小限の4名での開催と致しました。内容につきましては本紙面にて、ご報告させて頂きます。

第15期のトピックスとしては、国際交流事業部の活動をオンラインでスタート致しました。昨年度の留学生とのリアルな交流ができない状況の中、まずはミャンマーとの交流、続いてトルコの首都アンカラにあります土日友好協会との交流を SA 吹田の国際交流のメンバーとコラボ活動という事でスタートしました。又同じく SA 吹田のおもちゃ部会のメンバーの方の協力をお願い「子ども健全育成塾指導者養成講座」を開校致しました。
「NPO・法人 SA 子ども活動塾」の講師陣の皆様と一緒に活動ができました。

第16期も会員各位が活発に活動される事、そして日々元気に過ごされる事をお祈り致します。どうぞよろしくお祈り致します。



◆ ◆第15期事業報告◆ ◆

I. 第15期事業 総括報告

報告者：村松 秀明

第15期はコロナに明け暮れた1年でした。連日の報道で危機感が熟成され高齢者の活動意欲が削がれ活動の停滞となりました。又国際情勢はと見れば中国によるウイグル民族・ジェノサイド問題等々不条理な事柄が連日世界のどこかで起こっている状況です。日本も又、さまざまな国々の、それぞれの思惑の中、厳しい状況におかれています。

そんな中、当法人は設立以来15年を経過するという節目の年を迎えました。昨年度末にはSA・ネット大阪ニュースを15周年記念特集号として発行致しました。それぞれが15年を振り返り、またその時代を知らない世代の者は歴史を知るうえで貴重な号になったと思っております。広報部には大変なご苦勞をおかけ致しました。

またそれぞれの事業部におきましては、コロナ禍の中での活動に工夫を凝らした活動を実施いたしました。

本部に於きましては新たに「おもちゃ学校」をSA吹田の全面的支援を頂いて新たに開校する事ができました。コーダイ子ども事業部の一翼として今後も活動を続けていく足がかりができたと思っております。

おもしろ算数教室事業部におきましては、活動の持続性という観点から講師の複数化が果たされました。

国際交流事業部につきましては期初から就活支援グループが独立するという事でスタートし、事業部長不在の中、後期からはオンラインで海外との交流活動をスタートする事ができました。

決算状況は2年続けて繰越金を増やす事ができました。過去の遺産を食いつぶしての活動から脱却したという事は、社会からも評価を受けるに足る団体になったという事だと思っております。

他団体との連携につきましては、国際交流事業部、本部に於いてSA吹田とのコラボ活動が実現できました。また当法人の母体であります、大阪府SA連協との人的繋がりには更に緊密になり今後の活動においてもWIN,WINになるように模索していきたいと思っております。



おもちゃづくり教室



おもしろ算数教室



国際交流活動



おも
ち
や
学
校
開
校
式



II 事業部 活動報告

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

報告者：三田 進一

前期の活動は「コロナ禍」の影響を受け、ほとんど活動できない状況で終わりました。

1、四天王寺「わか市」 参加回数 0

「わか市」へは、一度も参加はできませんでした。「わか市」そのものは、昨年後半2～3回開催されましたが、私たちの活動が、「3密」の一つ、子どもさん方やシニアとの「濃厚接触」を懸念され、出店を許されずに終わりました。

四天王寺側の「自寺での催しでの参加者から感染者を出さない」との強い意思表示でもありました。

2、「おもちゃづくり教室」 実施 2回

「コロナ感染」を懸念し「3密」を避けるという趣旨で、年2回（昨年11月、本年3月）の開催に止まりました。

講師側、受講生ともシニアが多く、また、府内各地からの参加で外出による感染懸念を考慮し大事をとりました。それでも3月の「教室」には20人の参加者があり、会場側の制限収容人数を越え会館側に特別了解を得たほどでした。

3、NPO 法人大阪府民カレッジ受講生への指導 実施2校（延3回）

同カレッジ側が、やはり「コロナ禍」懸念から、各校の開講を9月からとされ、例年月2回程度のカリキュラムを月4回などに変更、過密日程となりましたが、「おもちゃづくり指導」は、当初の日程通りでカリキュラムに組み込まれ、「天王寺校」は1回、「みなと校」は2回指導しました。

在校中でのそれぞれの「地域まつり」等に参加し、地域市民との交流を図る一環のための受講ですが、各地とも「地域まつり」そのものが中止となり、その意図は果たせませんでした。今後、それぞれの地域交流活動に役立つものと期待しています。数少ない活動でしたが、幸いにも参加者で「コロナ感染症」に罹病された方はなく安堵しています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動報告

報告者：二葉 登美子

今年度も、この教室への参加者からは、「算数パズル難しかったが、楽しかった」「頭の体操、楽しかった」「算数楽しく遊びました」等の声上がり好評を得ました。この活動を楽しみながら「マジックの謎解きをする・パズルを解く・簡単な計算をする」に取り組む事によって、脳を活性化することが出来ます。日本認知症予防協会で行われている「認知症予防対策4か条」

食生活対策・頭（脳）のトレーニング・運動習慣・質の良い睡眠
の中の一つであることが分かります。

現在は、パズル体験やおもしろ算数パズル塾の活動は、なかなか困難です。しかし、相変わらず「おもしろ算数教室とはどのようなものか」を知って頂く絶好の機会だと考えています。そこで、パズル体験が以前のように再開できるようになった時には、現在、参加には、大きい溝となっている「参加すると頭をはかられる」感覚を除き、又は小さくするための工夫が求められています。

3, 国際交流事業部 活動報告

報告者：村松 秀明（兼任）

2020年度の活動は昨年度の活動(留学生交流プログラム、大阪大学ホストファミリープログラム)が、コロナの影響を受け、すべての活動休止となりました。又一昨年新たに加わったメンバーが始めた留学生就活支援事業も独立して活動を行なう事となりました。そんな中、コロナの影響を受けない新たな活動の模索を続けオンラインでの海外との交流活動という事にたどりつき、実施にこぎつけました。交流相手先はミャンマーとトルコの2か国です。

①ミャンマー日本語学校(ヤンゴン)との交流活動を始めました。

交流名称：「日本語で話そう」交流会

活 動 日：毎週金曜日 4:30～5:30

2020年10月～12月の第1クールが11回開催

2021年1月～3月の第2クールが12回開催

活動状況：2月のクーデターの影響を受け現地のインターネットが繋がらない事があつたり一斉停電とかで参加者が少ない時もありましたが継続開催致しました。

参 加 者：14名～5名(日本人7,8名 ミャンマー側7名 インドネシア1名)

交流内容：毎月のテーマに沿って最初の20分を参加者が1分程度話し、その後グループに分かれ其々が話す最終の10分程度をグループでの話した内容の報告にする。

②トルコ日本語教室との交流活動

交流名称：「日本語で話そう」交流会

活動日：毎週日曜日 4:00～5:00 2月3回 3月3回 実施、

活動状況：在日トルコ人の方の紹介でアンカラの土日基金文化センター日本語教室との交流を2月14日からスタートしました。この交流にはSA吹田の国際交流事業部のコラボで行なっておりSA吹田から4名の方が参加されています。

参加者：19名～20名(日本人8,9名 トルコ側11名)

内 容：毎月のテーマに沿って全体交流、グループに分かれての交流を計1時間行なう。

③大阪大学留学生ホストファミリー活動

大阪大学の方針により当面活動休止

④大阪日本語教育センター留学生交流活動

留学生が激減している現状の中、授業日数も減り、留学生に交流活動への参画まで余裕が無い状況です。再開まではもう少し時間が必要と思われます。

⑤国際交流サロン会議室で50人、60人が集って講演を聞くスタイルのサロン開催は難しい状況であり開催休止状況です。

OSA・ネット大阪ニュース 第37号

NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

15周年記念特集号



伝承おもちゃづくり事業部

国際交流事業部



SA・ネット大阪ニュース 第38号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <https://sanetosaka.com/>
〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35 大阪市教育会館(アネックスパル法円坂)内
認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL: 06-6360-4565 FAX: 06-6360-4410

◆◆ 第15期通常総会開催の報告 ◆◆

広報部長 大川 正彦

平素は当法人の運営に格別のご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。
第15期通常総会は令和3年6月1日以下の内容にて開催させて頂きました。
本年も新型コロナウイルス感染防止のため当日はご来場をお控えいただき、議決につ
きまして議案書は事前に送付し議決書に承認の賛否を記入してご返事をいただきました。

第15期通常総会 期日 2021年6月1日(火) 午後1時～2時

場所 大阪府高齢者大学校 会議室

・正会員 18名(当日出席4名)(インターネットによる委任状議決権行使 14名)

4、広報部 活動報告

報告者：大川 正彦

1) 広報誌の発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」年3回発行。

・2020年04月=35号下期報告。・2020年08月=36号総会資料。

・2021年04月=37号15周年記念誌特集号。

②15周年記念誌。ネット大阪ニュース37号として特集号発行（HP掲載）

・認定NPO法人大阪府高齢者大学校 和田 理事長

・NPO法人大阪区民・大阪府民カレッジ 北田 理事長

・大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 新鞍 理事長 ・各理事長より祝辞頂く

③高大校友会・PRコーナーに配架、SAネット大阪のPR活用に努めました。

2) ホームページの推進

・SAネット大阪主催のイベント情報コロナ禍で、大半中止で終わる。

ネット大阪ニュース37号15周年記念誌特集号としてアップしました。

3) 関連団体主催のイベントに参加予定も中止続く。

・関連団体「コーダイ文化祭」「校友会フェスタ」に参加PRコーナーで資料によるSAネット大阪のPR、会員募集に努め予定も総て中止になりました。

4) 本部経費削減

・ホームページ内製化継続、郵送料の圧縮推進を行いました。

・広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。計30,000

①ネット大阪ニュース35号=ニランジャナセワサンガ=10,000

②ネット大阪ニュース36号=無=0

③ネット大阪ニュース37号=・ニランジャセワサンガ=10,000

・フットマークス=10,000

5) 新規事業「NPOおもちゃ学校（大阪校）「子ども健全育成指導者養成講座」

（毎月第三火曜日）

・「NPO-SA子ども活動塾」と2020年4月よりコラボで合意立ち上げる

（理事会での承認受）

①開講式 村松運営スタッフの司会で長澤校長挨拶、来賓高大「子ども事業部」

音田事業部長より受講生に激励の祝辞を戴いたのち、スタッフの自己紹介、受講生の自己紹介に続き、本日の授業に入る。4月からのスタート予定が9月になったが3密対策でスタート・午前中クラフト工作、午後科学工作実習。途中班別写真撮影を行い班別レイアウトで実習。

・実習後クラスミーティング 15:00~16:00 ・開講式：応募者30名中3名欠席。

②修了式23名の受講生の皆様と講師スタッフ11名の皆様に無事修了式が挙行できました。

・受講生の皆様の成果発表会どれも素晴らしかったです。

また終了式では松森様作成の修了証を一人ずつに粗品を添えて長澤校長より授与。終了後スタッフの皆様と反省会3密に配慮して食事会を実施した。

◆ ◆第15期 事業計画◆ ◆

I. 第16期 総括事業方針

報告者：理事長：村松 秀明

コロナという人類に与えられた試練を正しく認識し、正しい感染予防措置を取り活動を、継続していきます。又この機会に、それぞれの事業部門の原点をあらためて検証し15年の区切りを経て次の時代の活動に臨んでいきます。常に当法人の理念「世代・国籍を問わず全ての人々と連携して支え合う多文化共生社会の実現を目指す」という事を念頭に置いて活動をすすめます。その為に、さまざまな団体・個人と連携し共創にチャレンジします。特に大阪府 SA 連協との連携については、一層緊密化に努めていきます。

II 事業部 活動方針

事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針

報告者：島田 道子

前期に引き続き「コロナ感染症」罹病を避けて活動することになると思われます。

1) 四天王寺「わっか市」

四天王寺境内で原則月1回（第1日曜日）催される「わっか市」は、市民の手作りの手芸、日用品、雑貨等を展示・販売するという「市」で、多いときは150店近く出店し、展示されている品を物色する市民や参詣客、観光客等が気軽に見て廻り選べる雰囲気定着し、私たちの「おもちゃづくり」も子どもたちからシニアまで簡単に作れて遊べるので足を止めて楽しんでいかれる点で人気です。

但し、「コロナ禍」による影響から四天王寺側の危惧で「市」そのものが中止となる場合も多く、私たちの出番も制約されるので、今年度もどの程度参加できるか全くの未知数です。

何よりコロナ感染症の不安が少なくなり、「市」が定期的開催されることを先ず願わざるを得ません。

2) 「おもちゃづくり教室」

奇数月1回第3火曜日に開催している「おもちゃづくり教室」も同じことが言えます。平成17年から定期的に始めたこの「おもちゃづくり教室」も100回が間近になってきましたが、昨年度は2回の開催に止まりました。

今年度も早速5月開催を中止しましたが今後も先行き不透明です。日本古来より伝承されてきたおもちゃを、材料・工程などを工夫し改良してきた先輩たち中心に、「教室」で指導してきましたが、今では多くの方々が更にアレンジ、工夫して独自のスタイルで各々の地域で活動されており、「教室」の果たした役割も少なからずあったと考えます。

しかし、他のおもちゃづくりグループや、「コーダイ」開校以来の「教室」からの修了生、昨年度から始まった「SA子ども塾」の修了生らと共に提携して続けていくことも大事ではないかとも考えます。

今年度からスタッフを一新し、従来の路線は継承しつつ、新しい目線で「教室」の運営を図りたいと考えています。

3) NPO 法人大阪区民カレッジ受講生への「おもちゃづくり」指導。

今年度も2校、延べ3回のカリキュラムが組まれ、講師役を委嘱されました。事前の打ち合わせを綿密に行い受講生全員に「作って遊ぶ」楽しさを味わって欲しいし、

それを地域との交流に役立ててほしいと思っています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動方針

報告者：二葉 登美子

「如何にすれば、おもしろ算数教室やパズル体験に足を運んで頂けるか」を考えています。参加していただくと、高齢者には、脳の活性化がはかられ、認知症予防の4本柱～食生活の改善・頭（脳）のトレーニング・運動習慣を付ける・質の良い睡眠～の内の一つの役割「脳のトレーニング」を担うものと理解して頂けるでしょう。

今は、参加していただけるチャンスを得ることが、非常に困難な時期です。しかし、幸いなことに、府民カレッジや区民カレッジでは、この教室の評価が、少しずつではありますが、高まりつつあるのではないのでしょうか。そこで、この流れをうまく掴みたいものです。

更に、昨年度末に、いきいき教室で高い評価を得て、小学生相手の活動も広がってきています。

これで、当初の狙い「子どもには、考える力を養い、高齢者には脳の活性化を図り、認知症予防を図られる」と考えています。

その上に、この教室の内容を理解して頂くためには、パズル体験が良い機会だと考えています。今後共に、サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

次に、一昨年定期的に教室（谷町教室）を開催しましたが、去年はコロナウイルス対策のために、会場・人員の確保が出来ないで、実施できていません。コロナウイルスによる混乱が落ち着いてきた時に、どの様に実施できるか、工夫が求められています。人気の「清少納言チエの板」に、現在は、新しい「ユークリッドのチエの板」をサポーターの方と協同で作成中です。

3. 国際交流事業部 活動方針

報告者：村松 秀明（兼任）

2020年度にコロナ禍の中での活動として始めたオンライン国際交流活動を今期も継続致します。国際文化交流科の修了生を中心に SA 連協の国際交流部とのコラボを含めてミャンマー、トルコの2か国2グループでの交流は継続し、新たに ISMEK(イスタンブール職業訓練コース)との交流を6月からスタートします。又オンラインでの国際交流活動は希望者も多く交流先を新たにベトナム・インドネシア等東南アジアの国にも求め、交流を図りたい。

国際文化交流科の7期修了生は24名の方が修了後活動の模索をしておられ活動へのアドバイスを言な行って行きたいと考えています。

また日本語教育センターや YOLO JAPAN 等、大阪において海外からの外国人に対応している団体・企業との連携を深めていき、外国人と共生社会の実現に貢献できるようにしていきたい。

- ・ミャンマー「日本語で話そう」交流会
第3クール～第6クール
- ・1クール 10回 合計40回
- ・トルコ「日本語で話そう」交流会



第2クール～第5クール 1クール 10回 合計40回

- ・交流相手国候補 ベトナム・インドネシア
- ・交流する国を増やして行き、其々の交流グループのコーディネータをSA ネット大阪会員が御世話するようにしていきたい。

4、広報部 活動方針

報告者：大川 正彦

広報誌の発行対外啓発活動（チラシホームページ）を行いシルバーアドバイザー・ネット大阪のファンづくり又新規事業による収支の良化、新人導入による世代交代を図る事等を目的とする

1) 広報紙の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年2回令和3年7月38号（総会特集）10月39号（上期）の発行を目指します。
 - ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いします。
 - ・会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。
- ②各事業部イベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

2) 啓発活動

- ①高大校友会のPR コーナー3Fのラックにも継続して「PR チラシ」等を配架し又 関連団体行事の「高大文化祭」「高大スポーツ大会」「高大修了式」「大阪区民、大阪府民カレッジ修了式」等に事務局と共同で参加し、PR ブースで資料での SA ネット大阪のPRに努めます。

3) ホームページの推進

- ①SA ネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックスコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信します。
- ②「SA ネット大阪ニュース」を、引き続き年2回。令和3年7月（総会特集）10月（上期）にHPにアップします。
- ③関連団体の大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告を更新します。

4) SA ネット大阪本部経費 『入りを計りて、出を制す』

- ・SA ネット大阪本部収支改善を図ります。

5) NPO おもちゃ学校（大阪校）＝ 子供健全育成指導者養成講座

- ・2021年度より「シルバーアドバイザー・ネット大阪」主催で実施
実施日 2021年4月20日（火）10：00～
会場 認定NPO 大阪府高齢者大学校3階6号
受講生 26名（2名キャンセル）



◆ ◆ 役員名簿 ◆ ◆

2021年6月1日～2022年5月31日

敬称略

現在の役員		新役員候補	
理事（理事長）	村松 秀明	理事（理事長）	村松 秀明（再任）
理事（副理事長）	大川 正彦	理事（副理事長）	大川 正彦（再任）
理事（副理事長）	二葉登代子	理事（副理事長）	二葉登代子（再任）
理事	武内 信憲	理事	武内 信憲（再任）
理事	三田 進一	理事	島田 道子（再任）
理事	島田 道子	理事	森川 加也（再任）
理事	森川 加也	理事	渡邊 耕平（再任）
理事	渡邊 耕平	理事	古川 雅一（新任）
監事	新鞍 清彦	理事	長澤 慎治（新任）
—	—	監事	新鞍 清彦（再任）

[退任・任期満了] 三田 進一

大阪の花 梅



2020年度役員



◆ ◆会員かわら版コーナー◆ ◆ NO-②⑤
退任挨拶

報告者：伝承おもちゃづくり府民塾事業部
14期世代間交流 修了 三田 進一

私、三田は今回の通常総会を以て理事を退任させて頂きました。

平成18年9月、「NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪」設立以来、理事として運営の一端を担わせて戴いて参りましたが、年齢的にも限界を感じ、また、運営面でも「新しい血」が必要と感じました。

在任中は一時期、理事長職も務めましたがお蔭様にて大過なく終わり、大半は「伝承おもちゃづくり事業部」を担当、わが国伝来の「おもちゃづくり」の継承に諸先輩方と共に幼児・小学校低学年の児童を対象に、それぞれの幼稚園・保育所、イベント会場に出向き一緒に作り、遊び、交流を楽しみました。

シニアの方々とも多くの会場で交流でき、「幼児時代」に戻って楽しんで頂きました。

また、「おもちゃづくり教室」を通じて同好者・指導者養成を図りました。幸いそのような活動にも数多くの方が参加・協力して下さい楽しく過ごすことができました。

いずれの面でもご協力頂いた方には感謝するところ大で、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

最近、色々な材料・図形・器材を取り入れて、より高度で立体的な「おもちゃ」を目指す動きもあり、それはそれで楽しく子ども達にも人気ですが、私達が目指してきた「おもちゃづくり」も大事に次世代以降に継承してほしいと願っています。

長年に亘りご指導、ご交誼頂いた皆様方に紙面を借りて厚く御礼申し上げます。これからも一層のご活躍をされますよう祈っています。

最後に、NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪が、3事業部ともそれぞれ特色を生かし、益々発展されることを祈念して退任のご挨拶といたします。誠に有難うございました。



三田理事（伝承おもちゃづくり府民塾事業部長）退任御礼

永年にかけてのS.Aシルバーアドバイザー・ネット大阪役員業務 ご苦勞様でした。

- ・堺市「国際障害者交流センター」での福祉用具説明活動企画運営。
- ・おもちゃづくり事業部での「放課後児童クラブ指導員養成」 おもちゃづくり教室年間6回での講師養成実施で地域でのボランティア活動に貢献。四天王寺わか市への参加で好評継続、併せて「手づくり伝承おもちゃ読本」発行講評販売・各講演の助言等々の活躍ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



◆ ◆会員かわら版コーナー◆ ◆ NO-②⑥

新任挨拶

報告者：国際文化交流科7期 古川 雅一

はじめまして、今期から理事の大役を仰せつかりました古川です。

今年の春に高大の国際文化交流科を卒業しました。(コロナ禍で9月～3月の7ヶ月間に圧縮された授業ではありましたが・・・)

さて、私事ではありますが、自分は定年まで仕事の関係で、東南アジア(特にタイ、インドネシア、ベトナム等)に出張ベースで出かけており、国際交流には以前より関心をもっておりました。

外国語は余り話せないのですが、それでも仕事柄、工場勤務の人々と接する機会が多く、勉強したくても出来ない環境に有る状況を多く見てきました。

定年後、自分にできる事はないか?と思い、「某・日本語教室」で日本語のボランティアをしております。日本に働きに来ていて、日本語検定を受験する学習者のお手伝いです。自分としては、日本に来て働きながら勉強している外国人の方々を少しでもサポートし、役に立って行ければと考えています。

それと同時に、高大でいろいろな国について学んだことや、仲間作り等も多いに勉強になりました。

SAネット大阪のいろいろな事業を通して交流の輪を広げ、皆様方と共に楽しい活動がたくさん出来ますように、微力ながら努力していく所存ですので、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。



古川理事 (今年、高大国際文化交流科第7期修了生) 新任歓迎

今年の古川さんのクラスの修了生の方は積極的な方が多くて、皆で何か社会貢献活動に取り組もうと活動の検討を始められています。その中には当法人が始めているオンラインによる国際交流活動であったり、2025年の大阪万博への参画であったり意欲的な案が出ています。古川さんは日本語教育のボランティア講師もされていて積極的に社会活動をされている方で今後の国際交流事業部の新しい活動や方向性を出して頂けるのではないかと期待しています。

2021年度会員募集について

平素は、NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪に格別のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)につきまして、新規入会の方継続ご入会いただく方、年会費の納入は以下の通りです。

記

- ◇正会員 会費年額 3,000円 ◇賛助会員 会費年額 1,000円
- ◇振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-1-235092
- ◇口座名 NPO 法人シルバーアドバイザーネット大阪
 - ・振込料は、恐縮ですがご負担をお願いいたします。
 - 新規申し込み希望の方は入会申込書をお送りしますので、郵送か FAX または E-mail に添付し下記宛にご返送ください。

NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

〒540-0006 大阪府中央区法円坂1-1-35
 大阪市教育会館（アネックスパル法円坂）内
 認定NPO法人大阪府高齢者大学校内
 TEL：06-6360-4565 FAX：06-6360-4410
[E-mail sanet@osaka-koudai.com](mailto:sanet@osaka-koudai.com)
[URL http://sanetosaka.com](http://sanetosaka.com)

[編集後記]

「SA・ネット大阪ニュース」第38号は、総会特集号の内容で、お届けいたします。議案書・活動計算書はホームページにも掲載して居ります、ご覧ください。

コロナ禍の中、対内外共に、活動中止相次ぎ収支計画も悪化の中も、新規事業、「新おもちゃ学校」半年遅れも成功裡に終る、国際交流活動も新しくオンラインによる海外との「日本語交流活動」も定着、併せておもしろ算数教室事業部、おもちゃづくり事業部も研修広報により府民カレッジ、区民カレッジ等の研修成約を得ました。

「入りを計りて、出を制す」の1年。「明けない夜は無い」を信じて・・・

広報部：M.O